

住まいの害虫⑩

名前：

チャドクガ

発生時期：

5～11月(年2回の発生)

1 写真：

(幼虫)



2 生態：

区分	幼虫（終令）	成虫（雄）	成虫（雌）
大きさ	約 25mm	12～14mm	15～18mm
体色	体は淡黄色。 頭部は黄褐色。	茶色、黄褐色、黒色と様々。 翅に2本の横線、2個の黒紋あり。	淡黄色。 2個の黒紋あり。
生息場所	ツバキ科（チャ、サザンカ、ツバキ等）の植物の葉		
発生時期	5～6月、9～10月	7月、9～11月	
被害	幼虫、脱皮殻に触れると激しい痛みと皮膚炎を起こす。	羽化の際、尾端に毒針毛を付着しているため、成虫が落とす毒針毛で皮膚炎を起こすことがある。	
その他	<ul style="list-style-type: none"> 主に、茶畑や庭木に生息するため、幼虫による被害が多い。 卵は食草植物の葉裏に卵塊として産みつけられる。 		
防除	<ul style="list-style-type: none"> チャドクガは、成虫の大量発生後の駆除は難しくなるため、出来るだけ、幼虫が小さいうちに被害を見つけ、殺処分することが大切です。その際は、幼虫の毛が刺さることがあるため、ビニール手袋や火箸などを使用して行ってください。（水と洗剤の入ったバケツに入れて死亡させた後、土に埋める等） また、卵塊を見つけてつぶすとかなりの予防になります。なお、卵塊のほか、成虫を取り除く場合は、マスク・ゴーグル・手袋を着用して行ってください。 成虫は、部屋の灯りに飛来してくるため、早めにカーテンや雨戸等をして、防犯面も考慮した上で光対策をすることも効果的です。 室内に侵入したガは、暴れると毒針毛が空中に散らばり、その毛によって、皮膚炎を起こしてしまいます。発見したら濡れ雑巾で取り押さえ、ティッシュペーパー等に包んで捨てることが重要です。 		